

平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 GMO TECH 株 式 会 社
 代 表 者 代表取締役社長 CEO 鈴木 明 人
 (コード番号 6026 東証マザーズ)
 問い合わせ先 取締役 CFO 管理部部長 染 谷 康 弘
 T E L 03-5489-6370

特別損失 (のれんの減損損失) の計上、
平成 30 年 12 月期通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 12 月期決算におきまして、のれんの減損処理を行い特別損失を計上するとともに、最近の業績動向などを踏まえ、平成 30 年 2 月 2 日付け「平成 29 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕」にて公表いたしました平成 30 年 12 月期の業績予想及び平成 30 年 12 月期の期末配当予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上について

当社は O2O 事業において GMO ソリューションパートナー株式会社より事業の一部を取得した際に発生したのれん等について、同事業に係る業績が当初策定の計画を下回って推移していることを勘案して、今後の事業計画を見直し、回収可能価額を慎重に勘案した結果、のれん等残高として計上しておりました 75 百万円を特別損失(減損損失)として平成 30 年 12 月期第 3 四半期累計期間において計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 当期の業績予想数値の修正(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	2,900	110	110	65	61.25
今回修正予想(B)	2,829	△100	△106	△185	△168.37
増減額(B-A)	△71	△210	△216	△250	—
増減率(%)	△2.4%	—	—	—	—
参考:前期実績 (平成 29 年 12 月期)	2,818	104	103	47	44.93

(2)業績予想修正の理由

売上高につきましては、アドテク事業において期初に大手顧客の売上検収の基準変更が起き、それによる売上高の減少という大きな影響を受けましたが、カバー施策としての新たな取り組みである「インフルエンサーアフィリエイト」サービスが順調に推移いたしました。その結果、売上高については2,829百万円となる見通しです。

一方利益につきましては、主に上記アドテク事業における売上減少に伴う利益の減少が大きく、営業利益ベースで約△200百万円の影響が生じる見通しです。そのため、その影響を補うためにカバー施策、人件費を含めた販売費及び一般管理費等の削減・配置転換等の経営効率化を進めているものの減少利益額の補填には至らず、営業損失は100百万円、経常損失は106百万円となる見通しです。

また、上記記載の通り、75百万円をのれん等の特別損失(減損損失)として平成30年12月期第3四半期累計期間において計上したため、当期純利益(損失)が前回発表予想を下回る見込みとなり、当期純損失185百万円となる見通しとなりました。

今後は選択と集中による戦略的な資源配分を実施するとともに、当社の強みに特化した事業展開を進めることにより、早期の業績回復を図ってまいります。

3. 配当予想の発表

(1) 配当予想

	1株当たりの配当額(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成29年2月2日発表)	0.00	0.00	0.00	30.68	30.68
今回修正予想				0.00	0.00
当期実績	0.00	0.00	0.00		
(参考)前期実績 (平成29年12月期)	0.00	0.00	0.00	30.43	30.43

(2) 配当予想修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元として配当性向 50%と掲げております。しかしながら、上記業績予想の修正により財務状況等を慎重に検討した結果、誠に遺憾ながら当期の期末配当予想を「無配」へ修正することといたしました。株主の皆様には深くお詫び申し上げるとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上